

平成 30 年 4 月 17 日

## 校長経営戦略支援予算加算配付選定にかかる意見

校長経営戦略支援予算  
加算配付にかかる外部選定委員様

西淀川区担当教育次長

平成 30 年度校長経営戦略支援予算加算配付選定について、次のとおり意見を付します。当区所在の小・中学校の申請書にかかる評価の際にはご参考にしていただけますようよろしくお願いいたします。

【意見】（※本市教育行政については、教育振興基本計画に基づいて行われていることを十分に踏まえた内容とすること。）

1. 区教育行政連絡会等において区担当教育次長が把握した課題・要望  
（※課題・要望とした根拠についても示すこと）
  - ① 学力向上  
（全国調査の結果は、一部を除き全体的に低調な傾向。全小中学校の学校長との面談時に同様の問題意識を共有）
  - ② 児童・生徒支援のための人材確保が困難  
（区内全小中学校訪問時の学校長からの報告）
  - ③ プログラミング教育導入への不安  
（教育会議委員や学校協議会会長会議での保護者・地域からの意見及び教育行政連絡会や学校長面談時の学校長の意見）
  - ④ 英語教育拡充への不安、教員への負担軽減策が必要  
（教育行政連絡会や学校長面談時の学校長の意見及び教育会議委員の意見）
2. 課題解決に向けた区のとりのくみ
  - ① 学力向上  
平成 29 年度、区民会館等の公共施設を活用した基礎学力を補強するための民間事業者による個別復習塾を中学校生徒対象に開始し、平成 30 年度も継続。
  - ② 学校ボランティアの確保支援  
平成 29 年度から区広報紙及び区ホームページにボランティア一覧を掲載し、平成 30 年度も定期的に掲載予定
  - ③ プログラミング教育の支援を実施  
校長経営戦略支援予算次長枠の中で、プログラミング教育に関する体験会や教材を購入、またプログラミング教育等について検討する場を設け学校を支援。

#### ④ 英語教育関連事業を実施

平成 30 年度は、校長経営戦略支援予算次長枠の中で英語イベント等を実施し、児童生徒がより英語に触れる機会を提供

### 3. 区担当教育次長が自区各校の申請（取組み）評価に際し、特に重視して いただきたい事項

#### ■それぞれの学校特性や教育課題を十分に把握したうえで、吟味された提案となっていること

- ・グローバル化、A I と共存する時代 を生き抜く力の基盤となる「知的な好奇心」「思考力」及び、人への共感力・豊かな情操・自己肯定感をベースとしたコミュニケーション力やチャレンジ精神を含む「人間力」を育てる視点。
- ・当区の重点課題でもある学力向上に資する取り組みの視点。
  - \*学力向上の基本的なエンジンとなる教員力・授業力強化の視点
  - \*中学校と校下の小学校とが連携して系統的に取り組む手法の視点
- ・教育活動の大前提である、安心して学べる学校づくりに資する取り組みの視点。